

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

【概要版】

「Ⅳ 社会福祉法人との連携強化」などは、概ね順調に取り組んでいますが、「Ⅵ 人材育成・確保」や「Ⅷ 収入確保」の取組区分において、一部未着手の取組項目があるため、次年度以降は計画どおり進めていけるよう努めてまいります。

- 1 目的・趣旨 本方針の進捗状況について、各年度の間中期と年度末に進捗状況の確認をし、予定どおり進捗していない場合は原因を徹底的に究明します。
- 2 進捗状況 平成29年度の進捗状況は、取組項目数42に対し、順調な取組みが23（54.8%）、遅れが見られる取組みが10（23.8%）、未着手の取組みが4（9.5%）となっています。【評価外5（11.9%）】

取組区分	取組項目数	進捗状況			
		順調	遅れ	未着手	評価外
I 協議体の再構築	3	3	-	-	-
II 地区部会への支援強化	7	5	1	-	1
III 実施事業の見直し	6	4	-	-	2
IV 社会福祉法人との連携強化	3	3	-	-	-
V 区事務所の強化	4（内再掲2）	2	1	-	1
VI 人材育成・確保	6	3	1	2	-
VII 支出削減	2（内再掲1）	1	-	-	1
VIII 収入確保	7	-	5	2	-
IX 資金管理の強化	4	2	2	-	-
合計	42	23	10	4	5

（1）順調な取組みの主なもの

取組項目	計画		H29		H30
	H29	H30	実績	自己評価	取組みの方向性
No.19 社会福祉法人 との関係づくり	60%以上	100%	市全体の社会福祉法人約73%（113/155法人）を訪問しました。	計画以上に進捗しました。 各法人とも地域貢献の必要性を十分理解されているものの、具体的な取組み方法について苦慮している法人もありました。	残りの法人を訪問する予定。 引き続き社協や地区部会活動などの説明をしつつ、各法人の地域貢献状況を把握していき、連携協力体制の構築に努めます。

地域と共に生きる新たな試み ＝特集＝社会福祉法人の地域貢献：最前線＝



わくわく食事会

キンモクセイの薫る9月下旬、中央区問屋町の高齢者複合施設「ピアポート千寿苑」の地域交流スペースは炊きたてのご飯とお味噌汁の匂いで満たされていました。この施設は、美味しいものをたくさん食べて楽しく生活していただきたいという思いから、自前の給食で毎日の食事メニューには工夫を凝らしています。

この日は施設をもっと身近に感じて欲しいと地域住民の方々28名をお招きし、試行的に食事会が開かれました。

食事の後は、施設の相談員や管理栄養士からのお話を伺い、脳トレのレクリエーションを楽しみました。参加者からは「母が、週3回こちらのデイサービスにお世話になっています。こんなに美味しい食事を頂いているのかと感激しました。他でもこのような食事会ができれば良いですね。」「お話しも大変素晴らしく、役に立ちそうです！」や「脳トレは大盛り上がりで楽しかった！」などの声があがりました。

最後に施設を見学し、陽光あふれる居室や木目調で統一された落ち着いたリビングでリラックスしている利用者さんの姿を見て、「もし将来お世話になるなら、こういう施設がいい。」と話す方もいらっしゃいました。

(2) 遅れの見られる取組みの主なものと理由

取組項目	計画		H29		H30
	H29	H30	実績	自己評価	取組みの方向性
No.22 人事考課制度 の見直し	考課表 改定案 作成	新考課表 による考 課を実施	他指定都市社協の考課表 を取り寄せるなど、情報収 集に努め、本会に馴染む考 課項目や行動例を検討しま したが、新考課表の策定ま では至りませんでした。	意図した効果がきちんと 現れるよう、処遇反映のあ り方を含めて、より慎重に 検証することとしたため、 計画に遅れが生じていま す。	29年度の実績に加え、 職員からも多様な意見を 集め、新考課表制定も含め たよりよい制度運用につ いて検討していきます。

理由：評価項目や処遇反映について、より慎重に検証する必要があるため。

(3) 未着手の取組みと理由

取組項目	計画		H29		H30
	H29	H30	実績	自己評価	取組みの方向性
No.25 職務分類 の適正化	検討	検討	未着手となっています。	計画どおり進みませんで した。	社会福祉事業団との合 併を想定した場合なども 含め、多様なシミュレー ションを行います。

理由：他の事務事業との関係で未着手となっています。